

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 6月 1日 更新

事務事業名		交通指導員設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	財津 公正
	施策	16	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	本田 千晴
	施策の柱	52	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10041	根拠法令	道路交通法、交通指導員設置規則 成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 54 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため、市からの委嘱により交通指導員を設置。毎月1日、10日、20日の安全安心の日の街頭指導及び市主催行事等へ派遣する事業。現在の指導員数は20名。 交通指導員会議の開催。交通指導員研修会への参加。 市民の安全を確保し、交通事故の防止及び交通道德の高揚を図るため設置した。人口や車両の増加に伴い交通事故の危険性が高まっているため、指導員の必要性も大きくなっている現状がある。指導員の高齢化が進む等退任者が出てきており、その後の補充・後継者の確保が必要である。
【業務の流れ】	指導員の選出、委嘱状の交付、交通指導員研修会へ派遣、街頭指導等出勤依頼、費用弁償・報酬の支払
【主な予算費目】	報酬、旅費、需用費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
21名の交通指導員を委嘱し、市が設定している安全安心の日や、春・秋及び年末年始の全国交通安全運動期間中の通学路を中心とした街頭指導や、市主催行事等での交通指導、交通指導員会議の開催、交通指導員会への参加を行ない交通安全意識の向上や交通事故防止に努めた。		H28年度に同じ
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ イ 指導員の出勤行事数		・通信運搬費(切手代)の増加 ・制服の単価が上がったことにより、消耗品費増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ イ 市民	人	→ イ 市民
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
→ イ 交通事故に遭わないようにする	件	→ イ 市民が第一当事者となった交通事故件数
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
交通指導員の街頭指導、啓発活動により、交通事故の未然防止につなげる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込	
① 活動指標	ア 件		55	49	49	49	49	49	49	0	
	イ										
② 対象指標	ア 人		59,067	60,008	60,100	61,022	60,900	61,500	62,000	0	
	イ										
③ 成果指標	ア 件		272	248	245	211	240	235	230	0	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	1,483	1,499	1,626	1,497	1,694	1,850		
		(A) 事業費計	千円	1,483	1,499	1,626	1,497	1,694	1,850	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	774	813	813	774	813	850	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	0	0	2	1	2	0	0	0
延べ業務時間	時間	0	0	52	300	52	0	0	0		
(B) 人件費計	千円	0	0	207	0	207	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,483	1,499	1,833	1,497	1,901	1,850	0	0		

事務事業名	交通指導員設置事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 交通指導員による街頭指導の継続により、運転者のマナーの向上及び通行者の安全確保に取り組むことで、目標達成見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 指導員の研修等を行い、指導員の資質の向上を図ることで、街頭指導を通して交通事故発生を抑制できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 指導員の専門的な交通関係の知識を必要とするため、統廃合できない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 交通指導員の報酬は近隣町村とほぼ同額で削減余地はない。指導員の出勤手当も15回分打ち切りとしており、削減できない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 交通指導員運営のための業務であり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全市民を対象とした交通指導、市内全域での街頭指導を行っており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 交通安全は、市が主体的に取り組む必要がある。

3 評価結果の総括 (CHECK)

目標は達成したが、今後も交通事故減少へ向け、指導員の知識・技術の向上と指導啓発の活性化を図る。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策